



# (1) 事業報告



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## 大会気運の醸成：オリンピック・パラリンピック関連（1）

月 日	項 目	内 容	担当課
通年	オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定	市立幼稚園・小中学校全校でオリンピック・パラリンピック教育を展開	指導室
通年	広報ふちゅうに特集記事を連載	毎月21日号	広報課・政策課
通年	市主催事業でのP R	桜まつり、けやきフェスタ、商工まつり等でのP R活動	政策課
5月28日	府中調布三鷹ラグビーフェスティバル	3市協働によるイベントの開催	政策課
6月12日	ボールふれあいフェスタ	エキシビションとしてブラインドサッカーの競技紹介・体験会を開催	生涯学習スポーツ課 政策課
7月～8月	リオデジャネイロオリンピック特集展示	関連本を集めての特集展示を実施	図書館



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## 大会気運の醸成：オリンピック・パラリンピック関連（2）

月 日	項 目	内 容	担当課
7月7日・19日	リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック参加選手壮行会	市にゆかりのある選手の壮行会を実施	政策課
8月5日・11日	リオデジャネイロオリンピック男子サッカーパブリックビューイング	ナイジェリア戦及びスウェーデン戦のパブリックビューイングを開催	政策課
9月～10月	リオデジャネイロパラリンピック特集展示	関連本を集めての特集展示を実施	図書館
9月11日	ライブサイトでのP R	東京都主催オリンピック・パラリンピックイベントでのP R活動	政策課
10月15日・16日	東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」	福祉まつりでのパラリンピックパネル展示	地域福祉推進課 政策課
1月18日	Road to 2019-2020 キックオフイベント	基調講演とシンポジウムを開催	政策課
2月11日	府中駅伝競走大会	オリンピック・パラリンピアンを招待	生涯学習スポーツ課 政策課



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## 大会気運の醸成：ラグビーワールドカップ関連（1）

月 日	項 目	内 容	担当課
6月18日	キッズスタッフプログラム	サントリーサンゴリアスの練習試合でのスタッフ業務体験（小学生）	生涯学習スポーツ課
7月5日	ラグビーのまち府中推進委員会発足		政策課
8月12日	府中ダービープレシーズンマッチ	東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアスの公式リーグに向けたプレシーズンマッチを開催	政策課
11月5日	リポビタンDチャレンジカップ2016パブリックビューイング	アルゼンチン代表戦のパブリックビューイングを東京都との協働により開催	政策課
11月23日	「ラグビーのまち府中」シンボルマーク発表	併せてステッカー・PRチラシの配布	政策課
12月22日	ワールドカフェ	「ラグビーのまち府中」を発展させる方法を元ラグビー日本代表・廣瀬俊朗氏と考えるワークショップを開催	政策課



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## 大会気運の醸成：ラグビーワールドカップ関連（2）

月 日	項 目	内 容	担当課
1月7日	府中ダービー	東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアスを府中市長杯として開催し、市民約1,200名を招待。ガイドブック配布。ラグビーのまちオリジナルスイーツ試食販売。タウンサイト開設	政策課 生涯学習スポーツ課
2月5日	ラグビーのまち府中デー	東芝ブレイブルーパスとサントリーサンゴリアス選手によるトークショー、ラグビー体験コーナー、サントリーサンゴリアス優勝報告会、バナーフラッグの初掲示	政策課
3月23日	廣瀬俊朗氏を府中市ラグビーのまち協働アドバイザーに選任	併せてラグビーのまち府中推進委員会特別顧問にも就任	政策課



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## キャンプ地の誘致

月 日	項 目	内 容	担当課
通年	事前チームキャンプ地	各国、各競技団体へのアプローチ	政策課
12月20日	公認チームキャンプ地申請	ラグビーワールドカップ2019の公認チームキャンプ地に申請	政策課

## ボランティアの育成支援

月 日	項 目	内 容	担当課
通年	市主催事業でのボランティア活動の推進	多摩川清掃市民運動、市民協働まつり「つながりフェスタ」、放課後子ども見守りボランティア、ボールふれあいフェスタ ほか	環境政策課 市民活動支援課 児童青少年課 生涯学習スポーツ課 ほか
1月16日～20日	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座の開催	都とむさし府中商工会議所で実施する研修の開催支援	経済観光課
10月15・16日 2月7・9日		東京都との共催により開催	市民活動支援課

# (1) 事業報告：平成28年度事業

## スポーツ・文化の発展

月 日	項 目	内 容	担当課
通年	市史編さん事業の各専門部会による資料収集・調査実施	ビジュアル版市史ガイドブック作成に向けた資料収集・調査実施	ふるさと文化財課
通年	日本遺産認定に向けた取組	東山道武蔵路と古代国府・国分寺（仮称）の日本遺産認定に向けた調整及び申請	ふるさと文化財課
4月23日・24日	アルバルク東京のホームゲームに市民を招待	アルバルク東京の協力により各日50名を無料招待	生涯学習スポーツ課
5月28日	コミスポ協力者研修会	スポーツボランティアを対象とした研修会の実施	生涯学習スポーツ課
12月3日	障害者スポーツ研修会	スポーツ推進委員会を対象とした研修会を実施	生涯学習スポーツ課
2月13日	パラリンピアンを講師として招いた講座の開催	指定管理者との協力により「いのち」をテーマとした講座を開催	生涯学習スポーツ課



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## 魅力発信

月 日	項 目	内 容	担当課
通年	ホストタウン申請	オーストリアのホストタウンとして申請	政策課
通年	駅前案内板の多言語化	改修及び新設	広報課
通年	無料公衆無線LANの整備	けやき並木通り及び公共施設に無料Wi-Fiを整備	情報システム課
通年	英語版観光マップの作成・配布		経済観光課
通年	特産品開発の支援	補助金交付による支援	経済観光課
通年	電線類地中化事業の推進	工事の実施	土木課
通年	サイン・多言語表示整備計画の素案策定	府中駅・多磨駅周辺のサイン・多言語表示の検討	政策課 広報課 経済観光課 計画課
2月14日	モニターツアー実施	外国人観光客の受入体制の整備に向けたニーズの把握と課題整理のため、外国人留学生の参加のもと、市内観光地などのモニター	経済観光課 政策課
2月	多言語メニュー作成支援に関する研修	都とむさし府中商工会議所で実施する研修の実施支援	経済観光課



# (1) 事業報告：平成28年度事業

## ●東京2020参画プログラム（公認プログラム）への参加

### 【趣旨及び目的】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、各自治体が実施する大会に関連する対象分野のイベント等を、東京2020組織委員会が認証することで、**多くの国民が大会に関わり、参加できるようにするプログラム**のこと。

認証されたイベントでは、

- ◆ ポスターやチラシに公認マークや応援マークを使用可能
- ◆ 「オリンピック・パラリンピック」等の文言使用が可能



### 【府中市の平成28年度実績】 5件（2017年3月末／全国では約700件認証）

イベント名	実施月	担当課
まちづくりカフェ	12月・1月	政策課
Road to 2019-2020 キックオフイベント ～ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・ パラリンピックに向けて～	1月	政策課
ちびっ子ふれあい文化祭	2月	市民活動支援課
府中市コミュニティ文化祭	3月	市民活動支援課
府中市平和都市宣言30周年記念 平和の灯のともるコンサート	3月	生涯学習スポーツ課

# (1) 事業報告：平成29年度事業

## ●東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

### 【フラッグツアーとは】

リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック閉会式にて小池都知事に贈呈されたオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが、東京都内62区市町村を巡回し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運を醸成するというもの。

### 【府中市でのフラッグツアーについて】

4月9日（日）に市民桜まつりと同時開催。フラッグツアーアンバサダーとしてサッカー元日本代表の城 彰二氏（アトランタ1996オリンピック出場）、卓球の吉田信一氏（市内在住、リオデジャネイロ2016パラリンピック出場）にお越しいただき、ステージ上でフラッグ歓迎セレモニーを実施したほか、市民パレードにもご参加いただきました。なお、セレモニー・パレードには、府中市体育協会及び各加盟団体、府中市少年サッカー連盟、市立中学校卓球部生徒の皆さまにご協力いただきました。また、10日（月）から14日（金）まで、フラッグは市役所で展示しました。（参加者数：約500人）



# (1) 事業報告：平成29年度事業

## ●府中調布三鷹ラグビーフェスティバル2017

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場となる味の素スタジアムの近隣3市（府中市・調布市・三鷹市）が連携し、大会開催に向けた気運醸成及びラグビー普及啓発を目的として、7月1日（土）に味の素スタジアム西競技場にて開催。今年はメインコンテンツとして女子7人制ラグビートーナメントマッチを実施したほか、タグラグビー教室、ラグビーアトラクションパーク、ウィルチェアーラグビー体験を実施。なお、実施にあたり、東芝ブレイブルーパス、府中市ラグビーフットボール協会、府中第二中学校ラグビー部、東京外国語大学ラグビー部、府中観光協会の皆さまにご協力いただきました。（参加者数：約1500人）







# (1) 事業報告：平成29年度事業

## ● NO LIMITS CHALLENGE

「NO LIMITS CHALLENGE」は、パラリンピックの魅力を発信する東京都主催のパラリンピック競技体験プログラムです。6月3日（土）の環境まつり会場内で開催された「NO LIMITS CHALLENGE」では、車椅子バスケットボールと陸上競技用車椅子の体験会を開催しました。



## ● ボールふれあいフェスタでのパラリンピック競技体験

市内を拠点として活動するトップチームの選手とふれあうことを目的として、毎年6月に開催しているボールふれあいフェスタ内で、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成事業として、車椅子バスケットボールとボッチャの体験会（運営：府中市スポーツ推進委員会）を開催しました。



# (1) 事業報告：平成29年度事業

## ●ラグビーのまち府中フォーラム ～ラグビーワールドカップ2019をどのように迎えるか～

7月9日（日）生涯学習センターにて開催。第一部は元日本代表主将で府中市ラグビーのまち協働アドバイザーの廣瀬俊明氏を講師としてお招きし、「ラグビーワールドカップ2019に向けて」をテーマとしてご講演をいただきました。続く第二部のパネルディスカッションでは、コーディネーターとしてスポーツジャーナリストの生島 淳氏、パネリストとして東芝ブレイブルーパスの大野 均選手、サントリーサンゴリアスの畠山健介選手、高野市長、引き続き廣瀬氏にご参加いただき、「ラグビーワールドカップ2019をどのように迎えるか。そして大会終了後、『ラグビーのまち府中』として府中市と府中市民は何ができるか、何をすべきか」についてお話しいただきました。（参加者数：約200人）



# (1) 事業報告：平成29年度事業

## ●おもてなしフォーラム2017 in FUCHU

7月23日（日）府中市市民活動センター・プラッツのバルトホールにて開催。第一部は、射撃日本代表でパラリンピアンの方の田口亜希氏を講師としてお招きし、パラリンピックの歴史や、ご自身がパラリンピックに出場することとなった経緯についてお話しいただきました。第二部のパネルディスカッションでは、コーディネーターに西川千春氏、パネリストに東京外国語大学の学生たちをお招きして、東京2020大会におけるおもてなし体制の構築に向けて、それぞれができるボランティアの可能性について語っていただきました。（参加者数：約120人）





## (2) 事業予定



## (2) 事業予定：平成29年度（抜粋）

柱	分野	内容	担当課
大会気運の醸成	オリンピック・パラリンピック教育の推進	オリンピック・パラリンピック学習の実践やオリンピック等との直接交流活動を実施	指導室 学務保健課 保育支援課
	大会の気運を高めるイベント・スポーツ大会等の実施	オリンピック・パラリンピック競技の体験会、オリンピック・パラリンピアン等を招いての1,000日前イベント等の実施	スポーツ振興課 政策課
		府中駅伝競走大会のコース変更	スポーツ振興課
キャンプ地の誘致	国内外に向けたキャンプ地の誘致活動の実施	組織委員会、各国、各競技団体との協議・交渉	政策課
	キャンプの受入れに必要な施設の整備	朝日サッカー場の改修	スポーツ振興課
ボランティアの育成支援	市民のボランティアに関する啓発講座等の開催	おもてなしに関する講演会等の開催	政策課 等
スポーツ・文化の発展	府中市における文化プログラムの発信	他市美術館等の文化施設との連携によりスタンプラリーを実施	美術館
	障害者スポーツの振興	障害者を含む市民を対象としたスポーツ体験教室・イベントの実施及び障害者のスポーツ実施状況調査	スポーツ振興課





## (2) 事業予定：平成29年度（抜粋）

柱	分野	内容	担当課
魅力発信	観光資源の発信	中国語・韓国語の観光ガイドの作成	経済観光課
		ラグビーのまち府中の推進	政策課
	国内外の来訪者の受入れに伴う環境の整備	観光情報センター周辺等の観光案内版の多言語化	経済観光課
		多磨駅自由通路の基本設計	計画課
		多磨駅駅舎改良の基本設計	計画課
		スタジアム通りの自転車走行空間整備に向けた設計及び交通量調査の実施	地域安全対策課
		朝日町通り外3路線の電線溝整備工事の実施	土木課
		多磨駅周辺のサイン・多言語表示の実施設計及び府中駅周辺のサイン・多言語表示の整備計画策定	政策課 広報課 経済観光課 計画課

## (2) 事業予定：専門部会

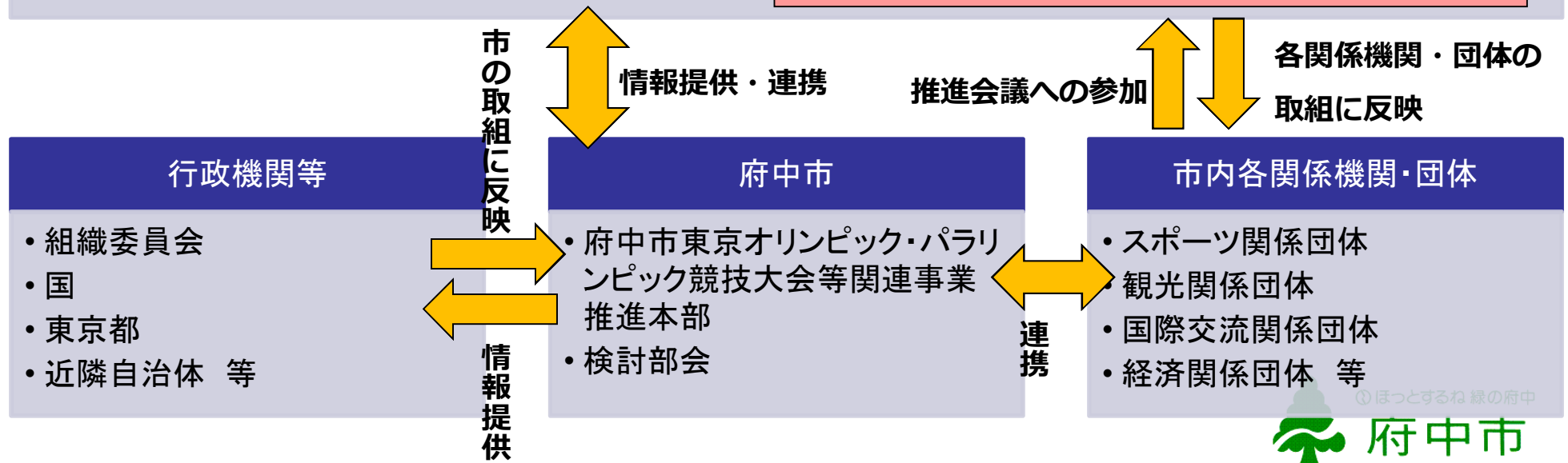
### ●府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議専門部会の設置について

#### 府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進会議

- ・市内スポーツ・経済・観光・自治会・国際交流・福祉・教育・防犯・交通等の関係団体の役職員等
- ・52団体52名

必要な調査等の指示  
調査等の結果報告

**専門部会** 推進会議委員から推薦された者で構成  
(※ボランティア部会やおもてなし専門部会を想定)





## (2) 事業予定：専門部会

### 【目標】

本市におけるオリンピック等の取組を市民との協働により実施していくため、実務レベルでの情報共有を図り、**オリンピック等にあわせて市全体で行う具体的な取組を、事業化を前提として検討**する。

### 【レガシー】

複数の分野・団体のコラボレーションによる事業検討・実施を通じ、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック終了後も、市内団体が協力・連携を継続する。

## (2) 事業予定：専門部会

### ● 専門部会の検討テーマについて

#### 【検討テーマ】

### 府中市全体でのおもてなし体制の構築

#### 【「おもてなし」の定義について】

ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに向けて府中市全体でおもてなしの体制を構築するためには、市民・市内団体の気持ちを盛り上げ（＝大会気運を醸成し）、府中市を訪れる方々（＝選手、観戦者等）を理解したうえで、彼らに対して歓迎の意を表す（＝来訪者への歓迎の催しを行う）ことが必要だと考えられる。このため、ここで言う「おもてなし」は、最終的なおもてなし行為に至るまでのプロセスについても含むものと定義する。

## (2) 事業予定：専門部会

2017年

2018年

2019年

2020年

2020年  
以降

平昌  
2018

RWC  
2019

聖火  
リレー

Tokyo  
2020

視点1 大会気運の醸成

視点2 キャンプ実施国・ホストタウンへの理解促進

視点3 来訪者への歓迎の催し

おもてなし体制の構築

レガシーの創出

## (2) 事業予定：専門部会

### 【視点1 大会気運の醸成に向けた取組について】

- 時期：2018年～2020年
- 対象者：市民
- 取組イメージ：
  - オリンピック・パラリンピック競技、ラグビー競技への興味・関心を深める事業（スポーツイベント・体験会等）
  - オリンピック・パラリンピック、ワールドカップへの興味・関心を深める事業（文化芸術イベント、講演会等）

#### （参考：これまでの取組）

・小中学校でのオリパラ教育	・オリパラ講演会とシンポジウム	・ラグビーワークショップ開催
・広報紙での連載	・オリパラパブリックビューイング	・ラグビーフェスティバル実施
・市内イベントでのPR	・府中ダービーへの市民観戦招待	・ラグビーのまち府中デー開催
・図書館でのオリパラ特集展示	・駅伝へのオリンピック・パラリンピアン招待	・ラグビーのまち府中シンボルマーク作成・PR
・オリパラ参加選手壮行会	・パラ競技体験会の実施	ほか



## (2) 事業予定：専門部会

### 【視点2 キャンプ実施国・ホストタウンへの理解促進に向けた取組について】

- 時期：2018年～2020年
- 対象者：市民
- 取組イメージ：
  - キャンプ実施予定国・ホストタウンの文化理解、スポーツや経済での交流等を深める事業（イベント、体験会、講演会等）

### （参考：これまでの取組）

- ・外国人おもてなし語学ボランティア育成講座開催
- ・モニターツアーの実施
- ・多言語メニュー作成支援に関する研修



## (2) 事業予定：専門部会

### 【視点3 来訪者への歓迎の催しに関する取組について】

- 時期：2019年～2020年
- 対象者：選手団、競技国関係者、観戦者
- 取組イメージ：
  - 歓迎を表す市内施設等の装飾（駅～会場までの街頭装飾等）
  - 選手団等歓迎セレモニーでの催し（日本文化の披露等）
  - 選手団等との交流機会での催し（日本文化の体験等）
  - 聖火リレーや市内実施競技（自転車競技等）の開催に関わる催し
  - 競技観戦者への歓迎の催し（競技会場～市内へのバスツアー・誘引イベント等）





## (2) 事業予定：専門部会

### ● 専門部会での検討にあたっての前提について

- ・ **複数団体のコラボレーションによって実施**する取組を検討する。
- ・ **事業化を前提**として取組を検討する。
- ・ 1つの視点につき、1つまたは2つの事業を検討する。
- ・ 専門部会には、専門部会構成団体の主管課・関係課が同席する。



## (2) 事業予定：専門部会

### ● 専門部会の構成メンバーについて

#### 【構成メンバー案】

推進会議構成団体のうち、テーマに沿った団体に部員選出を依頼し、専門部会を構成。

府中市体育協会 (スポーツ振興課)	府中観光協会 (経済観光課)	府中国際友好交流会 (協働推進課)	府中市立小中学校 P T A 連合会 (教育総務課・指導室)
府中市スポーツ推進委員会 (スポーツ振興課)	日本中央競馬会東京競馬場 (政策課・経済観光課)	府中国際交流サロン (協働推進課)	東京外国語大学 (協働推進課)
むさし府中商工会議所 (経済観光課)	府中文化振興財団 (文化生涯学習課)	府中市社会福祉協議会 (地域福祉推進課)	東京農工大学 (協働推進課)
府中市商店街連合会 (経済観光課)	府中市芸術文化協会 (文化生涯学習課)	府中市小学校校長会 (教育総務課・指導室)	まちづくり府中 (経済観光課)
むさし府中青年会議所 (経済観光課)	府中市自治会連合会 (地域コミュニティ課)	府中市中学校校長会 (教育総務課・指導室)	

## (2) 事業予定：専門部会

### ● 専門部会に係るスケジュールについて

時 期	会 議	議 題
7月31日	平成29年度第1回推進会議（市民）開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門部会設置の報告</li> <li>・ 専門部会員推薦依頼</li> </ul>
8月18日	専門部会委員推薦期限	
9～11月	平成29年度専門部会開催（4回程度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組の検討</li> </ul>
12月	平成29年度第2回推進会議（市民）開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門部会での検討内容の報告</li> </ul>
1月	平成29年度第3回推進本部（市内部）開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門部会検討内容の報告</li> </ul>



# (3) 情報提供



## (3) 情報提供

### ●ホストタウン申請について

#### 【ホストタウンとは】

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、希望する自治体を「ホストタウン」として国（内閣府）が登録し、当該自治体と参加国・参加地域とが相互交流を図る取組のこと。

#### 【府中市のこれまでの動き】

平成28年10月 友好都市ウィーン市ヘルナルス区にちなみ、オーストリアのホストタウンとして  
第三次申請（→登録ならず）

平成29年 5月 引き続き第四次申請（→登録ならず）

⇒第四次登録までの全国でのホストタウン登録数は計179件

#### 【今後の方向性】

今後も、引き続きオーストリアのホストタウンに向けた取組を充実、申請を継続するほか、キャンプ地誘致の結果により、複数国での申請を検討します。



## (3) 情報提供

### ●東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーについて

聖火リレーについては、東京2020組織委員会内に設置された聖火リレー検討委員会にてコンセプトやルートを検討が進められているが、1964年の東京大会と同様、開催都市として都内全市町村を巡るルートでの実施となるよう、市長会を通じて東京都へ要望しました。

### ●東京2020オリンピック・パラリンピックのロードレースコースについて

自転車競技ロードレースのコースについては、現在、皇居外苑をスタート・ゴールとすることでIOC理事会にて承認されているが、国際自転車連合の要望により、府中市内を含む甲州街道を經由するコースを検討しているとの報道があったことから、府中市を含めた甲州街道沿線6市で東京都に対し誘致要望活動を行いました。

## (3) 情報提供

### ●みんなのメダルプロジェクトについて



東京2020組織委員会が主催する取組で、東京2020オリンピック・パラリンピックで必要となる約5,000個の入賞メダルに、不要になった小型家電に含まれる金・銀・銅を活用するというもの。府中市もこの取組に参加しており、市役所西玄関に回収ボックスを設置しているほか、市提携業者を通じて宅配便による回収も行っています。回収は必要量に達するまで継続されます。





### ●ラグビーワールドカップ2019の組合せについて

5月10日（水）、京都迎賓館でラグビーワールドカップ2019日本大会のプール組合せ抽選会が開催されました。この結果、日本代表はA組に入り、アイルランド、スコットランド、ヨーロッパ地区1位、ヨーロッパ・オセアニアプレーオフと同じ組となりました。今後、9月に全試合日程が決定する予定です。

## (3) 情報提供

### ●東京2020参画プログラム（応援プログラム）について

東京2020参画プログラムは、「公認プログラム」と「応援プログラム」に分けられます。平成28年10月から実施されている「公認プログラム」は、その実施主体が自治体等でなければなりませんでした。平成29年7月より実施の「応援プログラム」は、自治会・町内会・学校法人等非営利団体が実施主体となり申請できるようになりました。

東京2020参画プログラム	
東京2020公認プログラム	東京2020応援プログラム
<ul style="list-style-type: none"> <li>各省庁、開催都市、スポンサー、JOC、JPC、会場関連自治体、大会放送権者が実施</li> <li>公認事業として位置付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非営利団体が実施</li> <li>アクションの裾野を広げ、多くの人々が参画できることを目指す</li> </ul>
《公認マーク》	《応援マーク》
	
《分野》 スポーツ・健康／街づくり／持続可能性／文化／教育／ 経済・テクノロジー／復興／オールジャパン・世界への発信	





## (3) 情報提供

### 応援プログラムの実施主体となる団体

#### 公共関連

- 市町村（会場関連自治体を除く）

#### 地域関連

- 自治会・町内会等、商店街（自治体による主体登録が必要）

#### スポーツ関連

- 国内競技団体、体育協会等

#### 学校関連

- 連携大学以外の大学・大学院・短大、高専、専修・各種学校（国公立、学校法人・準学校法人）

#### 経済関連

- 商工会議所、商工会

#### 国際機関

- 国際機関、大使館

#### 公益法人等

- 公益財団・社団、認定NPO、社会福祉法人、独立行政法人、特殊法人等

#### その他

- 一般財団・社団、NPO等（公的団体による確認等を要件とする予定）